

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	<p>完全な体制が整っていない</p> <p>① 重篤な状態にあった入居者に対しては、家族、主治医を含めた終末期に向けた方針が確立しているが、そうでない方々への急変時の対処法が確立していない</p> <p>② 「看取り介護」について 実例がなく、対処できる職員も数少ない</p>	<p>① 完全な体制を整える</p> <p>② その時に備えて、共通理解の周知徹底を図る</p>	<p>① 入居契約時に終末期に関するご家族の方針の確認書などはとっているが、お元気な方々に対しては、その時のままになっているので、全入居者の主治医、家族との連携を図り、急変時の対処を講じる</p> <p>② 死生観教育をふくめ、共通理解を図る為に、独自で資料作りを行い内部研修を実施していく</p>	12ヶ月
2	36	<p>入居者と職員の信頼関係を大切にしているが、長い時間を一緒に過ごしていることで、馴れ合いになっているところが有るように感じる</p>	<p>入居者への対応はもちろんの事、その日一日の職員間の関係が、入居者にとっては大きな環境になることをしっかり把握し、スピーチロックも意識しながら、日々の支援を行う</p>	<p>倫理および法令遵守・接遇・プライバシー保護などの外部研修参加や内部研修の実施</p>	12ヶ月
3	10	<p>運営に関して、会議に参加していただいている少数の家族の意見しか反映されていない</p>	<p>定期的に簡易的なアンケートを郵送し、運営に反映させることができる</p>	<p>家族へのアンケート内容を全職員で検討し、年2回郵送、集計後、運営推進会議で報告し反映に繋げる</p>	12ヶ月